



「代官山春花祭2015」

2015年5月3日(日)～5日(火)の3日間、第9回「代官山春花祭2015」が開催されました。

「代官山春花祭」は、代官山エリア内の8町会の町会長及び2つの商店会の会長で構成される実行委員会の主催により、渋谷区、恵比寿地区町会連合会の後援を受けて、毎年ゴールデンウィークに開催されています。

住民、就業者、来街者の良好なコミュニケーションの形成を目的としたお祭りとして、代スキ会は2013年より「地域プラットフォームとしての活動」に位置づけ、支援しています。

開催にあたっては、東急不動産、東急電鉄、代官山アドレス・ディセ、ラ・フェンテ代官山の企業協賛、ヒルサイドテラス、株式会社サイバード、代官山T-SITEなどの会場提供、代官山の事業者、住民を中心とするイベント運営参加者により、多種多様なイベントが企画されました。

核となるイベントとしては、代官山町の住民の発案、代官山アドレス・ディセの協力のもとで実施された、代官山の魅力を振り返る写真展「代官山時間旅行」や、鉢山町の住民の発案、ヒルサイドテラス、代官山T-SITE、株式会社サイバードの協力のもとで実施された、東北復興応援イベント「第二回きずな音楽祭」と「福島の動物たちの写真展」などがありました。

また、第10回目となる「ひまわりガーデン代官山坂 タネ植え」も「代官山春花祭」と連動するイベントとして実施され、地域共同でひまわりを育てることによる、まちの美化と協働による良好な関係づくりが今年もスタートしました。

その他、代官山坂では「春花祭マルシェ」(34の運営参加者による29張のテント出店)やヒルサイドプラザ、シアターサイバードなどのサテライト会場では「ふれあいイベント」(23の運営参加者による25の公演・ワークショップ等)、代官山エリア内の各店舗では「ショッピングイベント」(12の運営参加者による多様な企画)が開催され、全体では属性の異なる61の運営主体によるイベントが実施されました。<代官山春花祭ウェブサイト <http://www.gw-daikanyama.org/>>



まちの環境を守る「ご近所懇談会」

代官山は日々変貌しており、かつての閑静な住宅街という面影が薄れつつあります。しかしながら、古くから、また代官山を好んで住む人がいてこそその成熟したコミュニティが引き継がれています。身近な日々の問題を解決するために、昨年8月から定期的に開催している「ご近所懇談会」では、住み続けられるまちであるために解決したい問題や、こんなまちであってほしいという希望や願いを話し合う活動を続けています。

「ご近所懇談会」では、こんな話題があがっています。

- 違法駐車駐輪** 渋谷警察と相談の上で駐車禁止のビラを作りました。通行の邪魔になっている車両に貼り、ご理解とご協力をお願いします。店舗従業員の通勤のバイクや自転車も多いようで、各店舗には駐車場の確保を求めています。
- 歩道上の立て看板** 景観を害するばかりか、何より通行の邪魔になっています。風の強い日は倒れたり飛ばされたりと危険でもあります。当事者との話し合いなどを地道に進め、善処をお願いしたところ、少しずつ改善されつつあります。
- 安心して歩ける道路** 子供や高齢者が安心して歩ける街であってほしいというのが共通の願いです。狭い道路は関係者以外の車両乗り入れ禁止にできないか、車両の通行を規制した散歩道の指定など提案されています。歩道を走る自転車の危険性も指摘されました。
- ゴミ集積場の乱れ** 集配日前日の夕方から集積場にはゴミが溜まり始めます。集配日ではない日に出されているケースもあります。特に事業所のゴミ出しが乱れているとの指摘もなされました。
- 飲食店の深夜営業の問題点** 時間貸し駐車場から24時間営業の申し入れがあったことの報告をきっかけに、飲食店の深夜営業が増えてさまざまな問題が持ち上がり、対応に苦慮しているという声があがりました。
- 騒音や臭いが気になる飲食店** 深夜営業の店が増えてきたこともあり、騒音で安眠を妨害される被害が数多く報告されています。臭いに関しては多大な我慢を強いられている住民がいるにも関わらず、改善への道はまだ見えません。
- タバコや缶のポイ捨て** 自販機の近くや路地、植え込みが格好のポイ捨ての場になっています。朝の道に散らばる吸殻は、深夜営業の飲食店の来客者のものと推測されます。

今後は、さまざまな問題に関して、事業者の方々と交えた話し合いの場を持ち、住民と事業者が力を合わせ、よりよい環境づくりを進めていきたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。

<ご意見ご質問は、代官山ステキなまちづくり協議会・石原まで(080-4404-1933)>